



みやこ 議会だより

2024.2.1

第77号

**171名の方が
20歳を迎えられました。**

能登半島地震で被災された皆様に
謹んでお見舞い申し上げます。
一日も早く平穏な生活に戻られます
ことをお祈り申し上げます。

12月定例会の審査報告 2～5P
議会の活動報告 6～7P
9名の議員が町政を問う 8～17P
小学校6年生が議会を傍聴 18～19P
がんばっちょる!! 20P

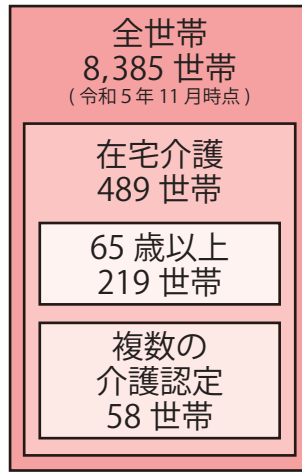
委員会審査報告

文教厚生常任委員会(12月7日)

ケアラー支援条例の制定

問(柿野義直)介護を必要とする人、ケアする人の把握の状況は。

答(保険福祉課長)現時点では把握できていない。高齢者の介護の関係は次の図のとおり。



実態把握は、今後実施していきたい。

問(中尾昌廣)引きこもっているかたの数の把握は。

答(保険福祉課長)公式に調査をしていないため把握していない。条例施行後、実施していきたい。

問(中尾昌廣)実態を把握するだけでなく、どのようなことをやっていくのか具体的に考えていただきたい。

答(保険福祉課長)具体的には、地域包括支援センターを活用して、地域社会での支援体制を強化する方針。現在、包括支援センターで地域の民生委員や社会福祉士等と連携し、ヤングケアラーの負担軽減につながる行政サービスを紹介している。全てのケアラーを支援するため、令和6年度より地域包括支援センターの業務にケアラーの相談支援、連携体制の構築を追加して施策を実施していく。

問(石松雄太)ケアラーやヤングケアラーの問題は多岐にわたると思うが、全ての相談窓口が地域包括支援センターでいいのか。

答(保険福祉課長)地域包括支援センターの委託内容にケアラ

ーの相談支援、連携体制の構築業務を追加する予定だが、ここだけが相談窓口ではない。従前から行政の各部署、教育委員会などでも対応している。

学習等供用施設条例の一部を改正

問(柿野義直)公共施設の統廃合を進めるということで祓郷地区の学習等供用施設が廃止されたが、学習等供用施設は全部なくすのか。

答(教育長)公共施設再配置計画に則って、ただ機械的に統廃合をおこなうだけでなく、地域の人の意見を聞きながら進めている。

敬老祝金条例の全部を改正

問(柿野直子)該当者にはどのように周知するのか。

答(保険福祉課長)従前と変わらなく、郵送で住所地に送付する。

問(柿野直子)独居老人の場合、封書がきても見過ごす恐れがあるため、十分な周知を。

答(保険福祉課長)住所、氏名、振込口座の確認を返送によりしてもらっているが、返送されない場合は、再度、再々度の案内をしている。

問(石松雄太)給付申請をしなればいけないとなっているが、申請なしで一律に振込むことはできないのか。

答(保険福祉課長)地域包括支援センターや高齢者支援係が協力して申請漏れがないように十分配慮している。



総務産業常任委員会(12月8日)

みやこ町が設置する基金の運用の特例に関する条例の制定

問(梅本智明) 法第241条第

1項は特定の目的のために積み立てる基金のことだと思いが、本町の基金で対象とならない基金はあるのか。

答(会計課長) 町の設置している41の基金全てが対象。対象とならない基金は想定していない。

問(梅本智明) 特例運用をおこなわないものとして、「基金の性質上特例運用を行うことがふさわしくない場合」と「特段の事情を有する場合」とは具体的にどのような基金か。

答(会計課長) 「基金の性質上特例運用を行うことがふさわしくない場合」は、取り崩しと積み立てを頻繁におこなっている基金や

特定財源を利用して積み立てている基金。「特段の事情を有する場合」は、ふるさと納税を利用した「ふるさとづくり基金」が該当する。

問(熊谷みえ子) 目的基金はその目的でしか使えない基金であるが、その金利を別に使うというのはその目的から外れるのではないか。

答(町長) 目的基金の金利をその目的以外のことを使うためにこの条例を制定する。

課設置条例等の一部を改正

問(六田一美) 観光まちづくり課が廃止されるとあるが、町内外の人に知ってもらうためには「観光」という名称が必要ではないか。

答(町長) 観光に関する業務は産業振興課で引き続きおこなう。

住民にわかりやすくできるよう努力する。

問(熊谷みえ子) 支所窓口の対応を充実としていたが、支所業務は住民課の対応だけではない。今後の見通しは。

答(総務課長) 支所業務の主なものは各種届出や相談。各種届出は、従前の業務に加え、FAX等を用いて本庁と連携しおこなう。相談は、オンライン相談端末を用いた対応を検討している。

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正

問(熊谷みえ子) 職員は遡及^{そきゅう}するとなっているが、会計年度任用職員も遡及^{そきゅう}することを検討しては。

答(総務課長) 年度内に給料表および期末手当の改定がおこなわれた場合、翌年度に適用する

とされている。適用については、県や近隣自治体の動向を注視しながら総合的に検討していく。

監査委員条例の全部を改正

問(梅本智明) 現在、定例監査は毎年4月と10月の年2回おこなうと規定されている。改正では、毎年4月から翌年2月までの間におこなうという規定だが、年何回おこなうのか。

答(総合行政委員会事務局長) 監査期日を実施月で規定していたことで不測の事態が生じたときに日程をずらすことができなかった。そのため、期間での規定とした。監査の回数は年2回おこなう予定。



予算決算常任委員会(12月11日)

令和5年度一般会計補正予算(第5号)

補正予算額(総額)

3億1162万1000円

令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

補正予算額(総額)

2136万円

令和5年度介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

補正予算額(総額)

1369万9000円

【総務費】

問(柿野義直) 支所機能の充実のためのシステム構築委託料について。現在、支所機能としては、いろんな仕事をこなせる状況になっているのか。

答(総務課長) 現在、全て同一にできる状況ではない。今回の取組みによって、これまで本庁でおこなっていた業務を支所でおこなえるように拡充していく予定。

今回のシステム改修により、オ

ンラインで相談業務をおこなうことができるように、各支所にオンライン端末を設置する。

問(柿野義直) 今後、支所機能としてどういうことをやっていくのか。

答(総務課長) 現在、各課にヒアリングをおこなっており、支所機能の拡充について詳細な詰めをおこなっているところ。

【農業振興費】

問(熊谷みえ子) ワンヘルスと水田農業DX推進事業について。県の新規事業として、ペレット化した堆肥となっているが、具体的に町としてどう考えているか。ペレット化すると予算が足りないのではないか。

答(農林業振興課長) 今回はワンヘルスに関連する機械導入に対する補助をおこなう。この機械は、トラクターの後に堆肥等を散布する機械を導入し、農地に堆肥をすき込んでいくというもの。ペレット化に対する事業に手を挙げる

ものではない。

問(柿野直子) 「ワンヘルス」の説明を。

答(農林業振興課長) 人間の健康と動物の健康、それと自然環境は一体的なものであるということ、総合的に考えて事業を進めようとするもの。

【臨時財政対策債】

問(柿野義直) 臨時財政対策債の減額ということだが、現在の金額は。

答(財政課長) 前年度末現在で、約42億9400万円。普通交付税の不足分を臨時財政対策債として借入れし、後年、その借入れ分と利息を基準財政需要額に算定をおこなうというもの。

問(柿野義直) 今回のおよそ200万円の減額の根拠は。

答(財政課長) 普通交付税の算定をするときに、臨時財政対策債についても当該年度に借入れできる限度額の算定がおこなわれる。その計算により算出された金額

と当初予算額の差額の補正。

【介護保険事業】

問(熊谷みえ子) システム改修委託料について。今、保険の2割負担や、介護認定の内容の変更などが取り沙汰されているが、今回の改修の具体的な内容は。

答(保険福祉課長) 負担割合等については、今、国のほうで検討中である。今回の補正予算の内容は、訪問介護と通所介護を組み合わせた複合型サービスが新たに始まるので、その対応のためのシステム改修である。

問(熊谷みえ子) 訪問と通所型の説明を。

答(保険福祉課長) 訪問介護の利用者に通所をしてもらう。また、機能訓練等の状況を踏まえた支援ということで、事業所のほうから自宅に訪問に行くというような複合型サービスが始まるというもの。

令和5年第5回定例会を12月4日から12月15日までの12日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

令和5年第5回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	岩村宗一郎	松本潤	柿野直子	六田一美	石松雄太	小田勝彦	飯本秀夫	中尾昌廣	大東英壽	柿野義直	原田和美	熊谷みえ子	梅本智明	議決結果
みやこ町ケアラー支援条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町が設置する基金の運用の特例に関する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
みやこ町課設置条例等の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町学習等供用施設条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町豊津地域水泳プール施設条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町営住宅条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
みやこ町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町敬老祝金条例の全部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町監査委員条例の全部を改正する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町一般会計補正予算（第5号）		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
令和5年度みやこ町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町一般会計補正予算（第6号）		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について		○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決

議長は採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席。



賛成討論

議案第68号 みやこ町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

熊谷みえ子 議員

会計年度任用職員の時給が最低賃金を下回ることのないよう「最低賃金を考慮する」旨の総務省通達がされています。人事院は民間給与と労働条件の実態を調査し「生計費原則」「民間準拠」をもとに賃金改定などを勧告しますが、物価高騰を上回る大幅な引き上げになっていません。

2022年10月改定の福岡県最低賃金900円では、フルタイム勤務、年間1,800時間働いても、年収は160万円程度であり、2023年10月の最賃941円になっても「健康で文化的な生活」を保障するものとなっていません。

会計年度任用職員に対する賃金の『遡及支給』の検討を求めます。

参議院総務委員会でも「会計年度任用職員の4月遡及分を含む賃金改定については、補正予算を組んでおり、地方交付税の増額で対応する。地方団体の財政運営に支障が出ないようにしっかりと対応する。」と総務大臣が答弁しています。

議会の活動を報告します!

活動報告

10月から12月までの議会及び議長の主な活動を報告します。

月 日	件 名
10月6日(金)	令和5年度みやこ町立犀川小学校研究発表会
	第12回みやこ町老連スポーツ大会
10月7日(土)	令和5年度ふれあい運動会
	第25回崎山ひまわり祭り
10月20日(金)	みやこ町老連グランドゴルフ大会
10月21日(土)	みやこ町ふれあいふくしまつり2023
10月26日(木)	暴力団追放!地域決起会議(北九州地区)
10月27日(金)	文教厚生常任委員会
11月1日(水)	福岡県町村議会議長会 第3回理事会
11月6日(月)	京都郡町議会議長会 議員研修会
11月7日(火)	国道201号対策特別委員会
	基地対策特別委員会
	第56回全国過疎地域連盟 総会
11月13日(月)	県議会主催 議会関係ハラスメント根絶のための議員研修会
	行橋京都メディカルセンター組合議会 定例会
11月18日(土) ~19日(日)	第16回みやこ町産業祭 よってこ犀祭 in みやこ
11月19日(日)	第18回みやこ町犀川マラソン大会
11月20日(月)	全員協議会 視察研修(苅田町議会)
11月22日(水)	福岡県町村議会議長会 町村議会広報研修会
	みやこ町都市計画審議会
11月25日(土)	第2回みやこ千人鍋芋煮会
11月27日(月)	令和5年度第3回京築広域市町村圏事務組合議会 定例会
11月29日(水)	第67回町村議会議長会 全国大会
12月16日(土)	第15回みやこ町愛郷音楽祭
12月19日(火)	みやこ町社会福祉協議会 第4回理事会



みやこ町ふれあいふくしまつり2023



第16回みやこ町産業祭
よってこ犀祭 in みやこ



第15回みやこ町愛郷音楽祭

福岡県町村議会広報研修会

日時 11月22日(木) 10時30分～15時

場所 博多サンヒルズホテル（福岡市博多区）

参加者 石松 雄太 柿野 直子

松本 潤

報告者 松本 潤委員

広報紙制作の基本ポイント

グラフィックデザイナー
長岡 光弘氏

2023年11月22日に福岡県町村議会議長会主催の「町村議会広報研修会」に参加させていただきました。

「広報紙制作の基本ポイント」をテーマとし、広報紙の基礎の基礎!を学んできました。

みやこ町でも住民の方々に興味を持ってもらい、一人でも多くの方に手に取ってもらえるよう広報紙の制作・企画には全力を尽くしておりますが、まだまだ未熟で力不足です。

どうしたら興味を持ってもらえるか、どうしたら手に取ってもらえるかを常に考えており、住民の方に「見たい」「知りたい」と思ってもらえるよう大切なのは、『伝える力!』をこれからも磨いてまいります。住民のニーズをしっかりと捉え、心地よい住民目線、センス感じる企画編集を行い、みんなが見やすい広報紙をこれからも目指していきます。



広報研修会 博多サンヒルズホテルにて

議会ペーパーレス化視察研修

日時 11月20日(火) 10時～11時30分

場所 京都郡苅田町議会

参加者 田中 勝馬 梅本 智明 熊谷みえ子

原田 和美 柿野 義直 大束 英壽

飯本 秀夫 小田 勝彦 石松 雄太

六田 一美 柿野 直子 松本 潤

岩村宗一郎

報告者 石松 雄太議員



視察研修風景

苅田町議会へ11月20日『タブレット端末導入に関する』議会研修へ行かせていただきました!

タブレット端末の導入に至るまで

令和3年度より議会運営にペーパーレス会議システムを活用したタブレット端末を導入。

ペーパーレスの推進および業務の効率化に取組み、令和5年12月の定例議会から本格運用を開始。

タブレット端末の導入、その後

ペーパーレス会議システムの導入にあたり、苅田町議会の議員と事務局職員の方々へ、実際に使用する上での感想を聞くことができました。

今後、本町でも議会運営にタブレット端末を活用していく方向ですので、先進的に取り組んでいる苅田町議会のタブレット端末導入にあたってのメリット・デメリット等を伺い、今後に繋がる有意義な時間になりました。

研修を終えて

私自身の感想としましては、ペーパーレスはもちろん、費用面など含めトータルコスト削減に繋がるだけではなく、議会運営の効率化が期待できるのではと思っていますところであります。



視察研修風景

研修を快く受け入れてくださった苅田町議会様ありがとうございました!

一般質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に対し、説明を求め又は所信をただすものです。みやこ町議会では、年4回の定例会で一般質問をすることが出来ます。

飯本 秀夫 議員	9p
1 防災対策について	
2 農林業問題について	
原田 和美 議員	10p
1 教育行政について	
2 環境問題について	
柿野 義直 議員	11p
1 築城基地の騒音対策について	
2 内田町政が目指す町づくりの方向はどんなものか	
松本 潤 議員	12p
1 鳥獣被害と自然の復活	
2 子どもたちの学校給食	
柿野 直子 議員	13p
1 安心・安全なまちづくりについて	
六田 一美 議員	14p
1 道路行政	
岩村 宗一郎 議員	15p
1 行政計画について	
2 町営住宅について	
3 児童福祉について	
4 納税寄附制度について	
熊谷 みえ子 議員	16p
1 まちづくりブランドデザイン策定の進捗状況	
2 地域公共交通計画の策定状況	
3 平和行政	
4 地域猫への取り組み	
石松 雄太 議員	17p
1 基本構想	
2 障がい者福祉行政	
3 基地対策	



いい もと ひで お
飯本 秀夫 議員

問 自主防災組織を問う

答 現在44組織である



動画はこちら

問 災害時の被害回避は自助、共助、公助があるが、共助については手助けが必要な人を把握し、地域全体で共有しなければならぬ。

そこで、独居や高齢者を対象に、毎月1〜2回程度の茶会や配食をおこなうことにより、地域の状況が確認でき、災害時の人的被害を防ぐと考えるが、町が推奨し、何らかの助成はできないものか問う。

町長 区の中の自治力は引き続き必要。町としての支援も必要だと考えているが、具体的などころまでは至っていない。

問 消防団組織は、全行政区を網羅し、機動力のある組織編成にできないかを問う。

町長 消防団組織の再編成については、消防団と協議しながら進めている。

問 災害時の避難場所とは、公共施設のみでなく広く準備する必要があるのではないか。

総務課長 必要に応じて臨機応変に避難場所を変更し、的確な誘導をおこなう。

問 避難所での生活は確保されているのか。

町長 最低限生活に必要な物資は確保している。

農林業問題について

問 町長の目指すみやこ町の農業体系を問う。

町長 町内では約2000ヘクタールの農用地で水稻を中心に様々な農産物の生産がおこなわれている。農産物の生産基盤である農地を保全し、農産物を生産していくことは非常に重要であると認識している。

問 転作田の水張り施策を強行する中で、畑作物の奨励等国の農業政策は矛盾とともに頻繁に枝葉が変更されている。みやこ町の農業ならびに農地を守るためにも町独自のゆるぎない施策の導入を求める。

町長 園芸農家、地域営農組合、大規模な個人農家など様々な経営体が今後も継続的に生産活動が続けられ、地域の維持に尽力していただければと考えている。そのために、町がすべきことを農家のかた、地域のかた、専門家の意見を聞きながら検討を進めている。

問 害獣対策で緩衝帯、いわゆる棲み分け目的の里山設置事業を問う。

農林業振興課長 工事費の当初助成制度はあるが、維持管理の費用はない。

問 狩猟者が足りないが免許取得助成と同様に更新時でもできないか。

農林業振興課長 検討の場を持つ。

問 小動物捕獲後の処理方法について問う。

農林業振興課長 猟師のかたは適正な処理が義務付けられているが、一般の住民は家庭ごみとして廃棄できる。





動画はこちら

はら だ かず み
原田 和美 議員



問 豊津小学校新築工事の1億円強の
変更契約に関して問う

答 工事の契約等については不審を
抱かれないように組織強化をする

問 基本設計・実施設計・設計監理および工事
各々の落札業者・契約金
額・変更金額・変更内容・
工期について明確な回答
を求む。

教育長 小学校整備事業
では指名および一般競争
入札で15件の委託および
工事について業者が決定
している。主なものは実施
設計で手島建築設計事務
所と当初契約3058万
円。開発申請業務等を追
加したため最終契約は工
期変更なし、540万1
千円増の3598万1千
円である。また、建築工事
はピーエス三菱九州支店
と15億8802万336
0円で、物価高騰および
一部材料追加等により最
終契約は工期変更なし、
1億264万6170円



新豊津小学校校舎

増の16億9066万95
30円である。

問 今回、契約変更金額
が1億円以上になってい
るが説明を求む。

学校教育課長 地盤改良
工事、ひさし下地鉄骨工
事、受水槽基礎工事等の
追加を実施した。また、資
材の物価高騰に伴うため
増額契約をした。

問 契約変更に関し、2
年の間文教厚生常任委員
会に事前に経過や進捗報
告してないので、不審を

抱かれている。

副町長 経緯を議会や委
員会で報告しなかった点
は、真摯に受け止めて反省
している。足りなかった部
分があるので、今後は組織
として強化していく。

**猫の避妊手術の取組みに
ついて**

問 猫の避妊手術の取組
みについて質問したが、町
民が町担当者に電話で問
い合わせたところ、町と
しては何も関与していな

いとの回答であったとの
こと。議会回答と取扱い
が違っているがなぜか。

町長 公益財団法人どう
ぶつ基金さくらねこ不妊
手術事業に登録し、地域
猫活動の推進をしてい
る。今回、町民に十分な説
明が出来なかったことに
対し反省している。今後
は、職員間の情報共有を
より密におこない、町民に
対して適切な対応ができ
るように指導していく。



(公財)どうぶつ基金さくらねこ



かきの よし なお
柿野 義直 議員



動画はこちら

問 築城基地の騒音被害地区を
どうとらえているか

答 ほかの地区より騒音が大きいなど、
住民の負担軽減のため行政が努力
しなければならない地区

問 騒音改修工事対象地
区はどこか。

行政経営課長 豊津地区
全域と犀川本庄等の一部。

問 交付金はどのように
使われているか。

行政経営課長 豊津地区
全体で39%(うち10区に
15%、犀川地区に4%、
基金等に41%などとなっ
ている。

問 特に騒音被害の大き
い豊津地区の10区でつく
る地元基地対策委員会か
ら出されている要望はど
んなものか。

行政経営課長 地元負担
軽減に関すること、基地
周辺の環境整備に関する
ことが主なもの。

問 議会の基地対策特別
委員会に出された町の資
料によると、10区からの要
望に基地対策室の設置、

交付金の地元使用を増や
すこと、国富池の改修、公
民館への太陽光発電の設
置、有料化されたNHK
受信料対策、交付金を地
元負担なしで使うための
条例制定などがある。

総務課長 基地対策室の
設置は考えていない。太
陽光発電の要望には公民
館の電気代を助成するこ
とで対応している。それ
以外は防衛省と協議を重
ね、要望している。

問 国富池の改修は、み
やこ町防災まちづくり基
金(基地交付金でつくる)
を利用できないか。

総務課長 調整交付金で
定められている事業のソフ
ト事業に充てるためのもの
であり使用できない。

問 交付金を活用して地
元負担を免除するような

条例の制定はどこまで進
んでいるか。

町長 調査、検討をおこ
なっている。一定の受益
者負担をお願いしたい。

**内田町長が目指す
まちづくりは**

問 国道201号線の南
側バイパス(盛り土工法)
のルートで今後のみやこ
町のまちづくりの上で大
きな影響が出ると考えら
れる。町はどんなことを
目指すのか。

町長 現201号線にあ
る商店や事業所に影響が
出ないような対策や整備
を強く要望していく。通
過されるだけになってし
まう懸念はあるが、交通
渋滞の緩和などの向上が
図られ、賑わいのある道
路への改善が期待され

る。この地域の位置的な
ポテンシャルを生かすこ
とが大事だと考える。

至 行橋



至 田川

国道201号バイパスルート案図面



動画はこちら

まつもと じゅん
松本 潤 議員



問 鳥獣被害対策と自然の復活を

答 森林整備についても議論を進める

問 みやこ町で作物等の鳥獣被害はどのように把握しているのか。

町長 農業共済組合からの報告と住民からの報告を集計し県に報告している。被害の小規模なものや庭木、家庭裁園、また水路、畦畔等の被害については把握できていないため、実際の被害には現れないものも多くあるとは認識している。

問 それぞれの具体的対策はどのようにおこなっているのか。

町長 みやこ町では被害軽減を目的に、駆除と防除の面から取組を進めている。駆除では、経費の一部を助成するとともに、頭数に応じた奨励金の支給をおこなっている。

る。近年、大規模にワイヤーメッシュで農地を囲い防除をおこなう地域が加速し、猪や鹿による被害は減少傾向となっているが、アライグマによる被害が増加している。

問 昨今、テレビ等で有害動物による作物の被害や人への被害も報じられているが、町長はどう考えているのか。

町長 みやこ町では野生鳥獣の人への被害は今年度受けていないが、東北では人が居住している地域に熊が出没し、人に対しての被害も増加、福岡県においても猿が出没し小さな子どもに危害を加えたなど聞き及んでいる。野生鳥獣に不用意に近づくことは大変危険で

あり、野生鳥獣が近寄りにくい環境づくりや、むやみに動物に近づかないなどの注意喚起を被害軽減対策と合わせて、今後もおこなっていく。

問 近年加速している森林破壊で、動物の住む場所、食べ物が森からなくなっているのも原因の一つと思うが町長の考えは。

町長 みやこ町でも、近年ソーラー発電での大規模な林地開発がおこなわれ、直接の原因かは定かではないが、生息していた住処^{すみか}が奪われ、食べ物がなくなった事で集落、農地に現れる要因の一つではないかと考えている。専門家の意見も聴取し、森林整備についても議論を進める。

子どもたちの学校給食について

問 抗生剤やホルモン剤の肉への残留もほとんどのないジビエ肉を学校給食に継続的に取り入れていただけないか。

教育長 保護者や栄養士等の意見を聞きながら、給食の食材としての継続的な使用について検討する。



みやこ肉とロゴ



かきの なお こ
柿野 直子 議員



動画はこちら

問 DV被害者支援対策は

答 被害者等の相談所の設置や関係機関と連絡調整し対応している

問 コロナ環境の影響で配偶者による暴力の被害者が増加したといわれているが、町の被害者への支援対策の現状を伺う。

町長 公認心理士によるDV相談日を設定して開設している。また、緊急を要する事案が発生したときは、配偶者暴力相談支援センター、警察署等の関係機関への相談を促し、同時に町の関係部署と連絡調整をおこなっている。

問 被害者が町営住宅の入居を希望したがかなわなかったと耳にしたが、その事例はあったのか。

建築課長 DV被害者かどうかの確認をとれていないが相談を1件受けている。

問 そのかたは入居できたのか。

建築課長 入居資格があり、公募で現在入居している。

問 被害者を確実に保護できるよう、条例、規則の改正を検討していたきたい。

建築課長 国交省からの通達により、配偶者からの暴力被害者の公営住宅の入居について、優先的に入居の取扱いをおこなうことが可能であり、保証人の連署、入居期間、住宅使用料等についても適切な配慮をおこなうことが記されている。通達を基に対応していく。

知名度アップについて

問 隣の市町では企業の野球チームが全国大会を

目指すと新聞

報道されているが、地域の活性化につながるのではないか。スポー

ツ選手の採用、育成を図り、みやこ町を全国区にしてはどうか。職員や地域おこし協力隊としてでもよい、少し枠を超えた人事の考えはないか。

町長 現在スポーツ選手を要件とした職員採用は考えていない。町の文化や伝統など、すでにある地域の宝のブラッシュアップ、潜在する地域資源の発掘による地域ブランド化の推進など、新たな町の魅力度の向上、知名度アップに努力する。

問 このことをテーマに挙げた動機は、10月15日



に東京でおこなわれた馬拉ソンで、公務員ランナーと言われたK選手、スタートから30キロ過ぎまで先頭を走り、テレビ画面を独占していた。その時間の宣伝効果は絶大と感じた。再度何うがスポーツ選手の採用は考えられないか。

総務課長 スポーツ選手に限っての採用は考えていない。ただし、採用されたかたがスポーツ選手としての特技を持ち、休日等に活躍していただくことはやぶさかではないと考えている。

ろく た かず み
六田 一美 議員



動画はこちら

問 きょうあい 狭隘危険箇所道路の拡幅を
答 用地の問題が済み次第、事業を進めていきたい



綾野地区

町長 育徳館高校から陸上競技場までの道は、最小幅員が4.85メートルで、通行に際し、支障をきたす道路幅員ではない。しかしながら、育徳館に通う生徒が通学路として利用しており、歩道

問 育徳館高校から陸上競技場までの道、豊津椎田線、綾野交差点から綾野橋までの間と国分寺入口から3軒の家が残っているため狭い。交通量が多く危険箇所になっているので、早急な取り組みを求める。

が設置されていないため、歩行者の安全確保が十分とは言えない状態である。今後、歩行者の安全対策を検討していく。本町も危険箇所として把握しており、福岡県京築県土整備事務所と協議をおこなっているが、再度、強く要望するとともに、町の振興において重要な位置を占める道路であるため、全面的な協力体制で関係機関と連携を図り、早期問題解決に向けて尽力していく。



国分地区

問 豊津椎田線、綾野交差点から綾野橋までの間と国分寺入口から3軒の家が残っているため、狭く交通量が多く危険箇所になっている。以上の2箇所

都市整備課長 豊津椎田

線の件だが、県に強く要望している。県の回答は、この路線について起点側であるマルシヨクの前、国道496号線の交差点から約1.2キロメートル

の区間および要望区間の一部を挟んで国分徳政地区1キロメートルの区間の事業を実施している。国分地区は用地買収上の困難箇所があり、現在休止している。用地買収をはじめとした事業に対する地域の御理解と御協力が必要である。用地問題が片付くのであれば、県に事業進捗を強く要望していく。



いわ むら そう いち ろう
岩村 宗一郎 議員



動画はこちら

問 グランドデザインについて今後の展望は

答 まちづくりに対する意見やアイデアを
基に基本計画をまとめていく

問 内田町政に体制が変
わって早1年と半年が過
ぎている。グランドデザ
インを制定したところ
で、人口が増えたり、町民
が得られる恩恵はあるの
か。

町長 よりよい暮らしと
いうのは、みなさん違
うと思うので、連絡いた
ければ私が馳せ参じて説
明したい。そのための枠
組みが未来座談会と考
えている。

問 昔から在住されてい
る方の意見を伺うことも
すごく重要だと思う。一
方を向けなければなら
ないのは、移住者の方や子
育て世代や子どもたち
など、これからの地域を担
う方々の意見をお聞きす
ることも重要ではないか。

行政経営課長

町民ワ
ー



町民ワークショップ①

クシヨップを現在2回開
催し、今後も続けていく
考えである。
中学校での未来座談会
で町長が直接中学生と話
をする機会も設けている。
また、子育て世代を含めた
分野ごと、町民の方たちと
のヒアリングを現在12回お
こなっている。これも今後
続けていく。

町営住宅について

問 若者向け住宅の子育
て世代の方が町内に残る
ために、町として新たな対
応は考えられないか。

建築課長 現在のところ、制度上、この規定の見
直しについては予定され
ていない。

問 0円空き家バンクと
して町が無償譲渡可能な
町内の空き家等を登録し
て、取得希望者に紹介し
、譲る側・取得する側に発
生する諸経費を町が補助



町民ワークショップ②

する取組をされている自
治体もあると聞く。みや
こ町としても独自の取組
を考えて、衣食住の住を
充実するべく取組んでい
くべきだと考えている
が、いかがか。

観光まちづくり課長 現
在は、空き家バンク制度
しかない。提案された他
団体の無償のやり方は今
後勉強させていただく。

児童福祉について

問 豊津地区の寺子屋及
び祇郷あそびの広場の閉
所に伴い、令和6年度よ
り児童はどこの放課後児
童クラブに行くのか。

子育て・健康支援課長
すどりの里でおこなって
いる児童クラブで対応し
ていかなければと考えて
いる。

くまがい み え こ
熊谷 みえ子 議員



動画はこちら

問 小中学校再編について

答 グランドデザインの中で整備計画を推進する

問 まちづくりグランドデザイン策定の進捗状況は。

町長 全体構想は、令和4年度に基本構想・5年度に基本計画・6年度に実施計画の策定予定。様々なデータなどに基づいた社会変化を予測し、これまで集めてきたまちづくりに対する意見やアイデアを基に、基本計画をまとめていく。

問 小中学校の再編、中学校の統合計画について具体的には、グランドデザインを待ってという回答であったが。

教育長 小中学校の再編については、3月議会の町長施政方針で、グランドデザインをベースに適切な学校配置、学校規模を考慮して整備計画を推進

するとなっている。

問 公共施設の維持管理計画はどうか。

町長 まちづくりの中で重要な施設について、住民の意見やアイデア、専門家の意見等を含め検討し、各施設の機能や連携、公共施設跡地利用方針などの方向性を基本計画の中で示していく。

あいのりタクシーの利便性向上を

問 苦情ともう少し使い勝手を良くしてほしい要望等がある。

町長 地域公共交通会議を通し、事業者、利用者の意見を伺い、便数の拡充や予約の受付時間の短縮など利便性の向上に努め、よりよい制度を目指していく。

問 あいのりタクシーの料金一律化についてと高齢者福祉乗車券の配布で、お出かけ支援を提案する。

町長 利用状況や町の財政状況などを踏まえ、住民ニーズに対応した検討をおこなっていきたい。

平和でこそ

問 オスプレイの墜落事故後、米軍は12月6日に機体そのものに問題がある

る可能性がある」と発表をした後すぐの日米共同訓練である。

皆見にはペトリオットミサイル、迎撃用ミサイルが配備されている。

南西地域のミサイル配備など、軍事力による抑止ではなく、外交と対話による平和の構築こそ、積極的な役割を果たすことが必要ではないか。

危険と隣り合わせの日米共同訓練であり、町長に問う。

町長 12月5日から15日にかけて築城基地でおこなわれている日米共同訓練は、11月22日に九州防衛局より説明を受け、緊急時を除き土日や早朝、深夜の飛行はおこなわない方針であるとの報告を受けている。

あいのりタクシー



いし まつ ゆう た
石松 雄太 議員

問 グランドデザイン進捗状況について

答 基本計画策定中



動画はこちら

問 ワークショップ開催状況について。

行政経営課長 9月、1

回目の参加者は24人。11月、2回目の参加者は19人。

問 全世帯に対してまち

づくりに関するアンケートの配布や、役場内にまちづくりに関する意見を記入できるブースの設置は出来ないか。

町長 このような取組

は、やっていきたいと考えている。

問 「子どもたちの健や

かな成長のため、生涯にわたり夢をかなえられる学びの場として図書館を充実させる」と町長の公約にあるが、気持ちに変わりはないか。

町長 思いは全然変わっていない。現在、策を練っ

ている最中である。



みやこ町グランドデザイン基本構想

障がい者福祉行政について

問 聴覚障がい者の人数は。

子育て・健康支援課長

障がい者の手帳を所有されているかたは、10月末現在で949人。聴覚障がいをお持ちのかたは77人。

問 福岡県では、令和5

年4月から福岡県手話言語条例が施行されている。本町の方角性についてお聞きする。

町長 近隣市町の状況や

その内容、町の状況も鑑みて精査していきたい。

基地対策について

問 調整交付金、再編交付金がいくら交付されているのか。

行政経営課長 特定防衛

施設周辺整備調整交付金約1億3000万円、再編関連訓練移転等交付金約6700万円。

問 交付金の使用条件について。

行政経営課長 公共施設

等の整備、住民の生活利便性の向上及び産業の振興に寄与する事業などに充てることができる。

問 騒音被害を受けている10区に対する基金の設立を求める。

町長 基金に対する制約

が緩和されるよう何とか動かしていきたいと思っていないと思っており、きちん



築城基地日米共同訓練中のF-35

と目標を定め、国や防衛局へ要望に行くよう副町長をはじめ関係課に指示を出している。

考える子どもたち!

6年生の子どもたちが傍聴に来ました。子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。



祓郷小学校6年生 議場にて

☆学校の学級会とはちがって、1人の議員が60分間意見を言ったり、質問していて「すごく長い時間会議をしていてすごいな」と感じました。給食のことや害獣のことなど話し合っていることがはばひろくて「みやこ町のこと、全部この会議で決まっているんだな」と改めて感じました。

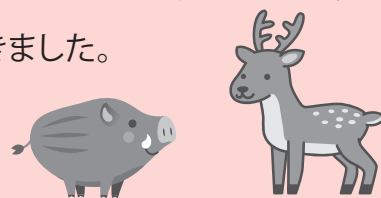
☆議会をぼう聴してみて「こういうところがみやこ町の課題なんだな」、「直していきたいな」と思いました。

☆長い時間をかけて、防災や農業についてたくさん意見を出し合ってすごいと思いました。

☆議会を傍聴して感じたことは、みやこ町がたくさんの課題をかかえていること、それにこの課題をかいけつするためにはたくさんの人が動いているということです。



☆一番心に残っているのは、イノシシやシカなどの害じゅうの対さくについてです。中でも害じゅうを市民がほかく、くじよした場合にはほじよ金がもらえるということにととてもおどろきました。



☆議会傍聴を通じて感じたことは、議会に参加しているみなさんがすごいと思いました。理由は、みやこ町の人のために1個の議題でみなさんが1時間もの時間をかけて考えてくれているからです。議会で話したことでみやこ町がもっと幸せになったらいいと思いました。



地域の将来を

～祓郷小学校・犀川小学校の児童が議会を傍聴～

12月4日から15日までの会期で開催された12月定例会に祓郷小学校(11人)と犀川小学校(17人)の感想文を頂きましたので、少しですが、ご紹介いたします。



犀川小学校6年生 議場にて

☆町のために1時間くらいの長い時間しん議されていたのがすごくうれしく思いました。今日、いろいろな難しい言葉が飛びかっていたけれど、ふんいきがとてもしんけんにしていたのがすごいなと感じました。

☆町人や町のことを第一に話していて、真剣に話し合ってくれているなと思いました。あと、意見や質問などをしたあとに一回もはくしゅがないことにびっくりしました。

☆質問をしてそれに対する答えを出してまた質問して答えてのくりかえしを60分間も続けられることがとてもすごいと思いました。

☆今勉強をがんばって、将来の夢に向かってがんばっていこうと今日を通して思いました。

☆最初はテレビも本物もどれも同じじゃないと思っていましたが、全然ちがって、はく力があり、おどろきました。声の大きさや手を挙げていて、大人たちが真剣に取り組んでいるようすがよく伝わりました。内容は、内田町長が言っていたように、議員たちだけが政治を行なうのではなくて、住民も政治に参加することが大切だと言っていました。

☆議会が始まる時に皆さん急に静かになられて真剣さがすごかったです。そして、一人一人の話をする時間がながくとてもみやこ町の人々の生活を良くしようとする皆さんの背中がカッコ良かったです。

☆部屋に入る前、出る前、発表する前など、必ず一礼をしていてびっくりしました。

がんばっちよる!!

誓いの言葉

二十歳という人生の大きな節目の中で、これから大きく変わりゆく社会をどのような夢や希望を持って生きていくべきかを考えると身の引き締まる思いがいたします。

ここ数年、コロナや戦争といった暗いニュースが続く中で、私を元気にしてくれたのはWBCやメジャーリーグで凄まじい活躍をされた大谷翔平選手でした。関心を持ったのは、大谷選手が学校にグローブを寄付しているニュースです。大谷選手は右投げ用2個、そして左投げ用1



個のグローブを用意していました。野球では右投げの選手が多いですが、数少ない左投げの選手の事まで考える思いやりを見習いたいと思いました。私自身左投げなので、特別嬉しく感じました。

私は、小学生の頃から好奇心旺盛で、様々な事にチャレンジしてきました。今となつては野球一筋ですが、ダンス、水泳、書道などにも挑戦してきました。チームワークや、自分を表現する力、きつくてもトライする力など、様々な力が身についたように感じます。自分との勝負に勝った時の達成感、自己成長を感じた時の嬉しさなどを体験することもできました。今までの様々な経験が今の自分を形成していると思っています。成功も失敗も含め、た

くさんの経験の引き出しを、我がふるさとみやこ町で作ってきました。小学生から始めた早朝ランニングは、地域の方々の声掛けのおかげで、地元を離れるまで続けることが出来ました。大谷選手には及ばないかもしれませんが、私も将来、みやこ町の子どもたちがたくさんさんの経験の引き出しを作れるように、自分ができることをしたいと思います。

令和六年一月七日

代表 中原 凌



編集後記

冒頭に能登半島地震による被災者の方へ、心からお見舞いとお悔みを申し上げます。

昨年は議会議員選挙に挑戦し、おかげで当選することができ、議員活動が始まりました。同時に議会広報特別委員会の一員となりました。目的は町民の皆様へ議会活動を伝え、大切な事を共有できたらと思っています。

世界では悲惨な戦争が起こっており、国内では政治不信が増し、乱世の年初めとなりました。今年も緊張を伴う1年となりそうです。

身近な問題から町民の皆様に応えられるように、努力する覚悟でありますので、どうぞよろしくお願いたします。

柿野 直子

議会広報特別委員会

委員長	熊谷 みえ子
副委員長	石松 雄太
委員	柿野 義直
委員	六田 一美
委員	柿野 直子
委員	松本 潤馬
発行責任者	田中 勝馬